

国立保健医療科学院運営

子供に安全をプレゼントー 事故防止支援サイト

<http://www.niph.go.jp/soshiki/shogai/jikoboshi/index.html>

<同サイトより>

事故は子どもの健全育成を妨げる最大の要因となっています。特にわが国の子どもの事故による死亡率は先進国の中では高いことが明らかになっています。

このため、厚生労働省の「健やか親子21」では全ての家庭および市町村が事故防止対策を実施すべきとしております。

このサイトでは子どもの事故を防ぐための情報と教材の提供をすることにしました。

『子ども達に安全をプレゼント』することのお手伝いできれば幸いです。

国立保健医療科学院 生涯保健部長

田中哲郎

子どもに安全をプレゼント
事故防止支援サイト

事故は子どもの健全育成を妨げる最大の要因となっています。特にわが国の子どもの事故による死亡率は先進国の中では高いことが明らかになっています。このため、厚生労働省の「健やか親子21」では全ての家庭および市町村が事故防止対策を実施すべきとしております。このサイトでは子どもの事故を防ぐための情報と教材の提供をすることしました。『子ども達に安全をプレゼント』することのお手伝いできれば幸いです。

国立保健医療科学院 生涯保健部長
田中哲郎

保健医療・保育関係者用
→ 保健医療・保育関係者用
(当分の間、登録なしでアクセスできます。)

一般の方
→ 一般の方
(健診用安全チェックリストほか)

市町村関係者用
→ 市町村関係者用
(マニュアルのダウンロード)

Copyright © 2004 National Institute of Public Health, Tetsuro TANAKA All Rights Reserved

子どもの事故防止支援サイト:保健関係者用 - Microsoft Internet Explorer

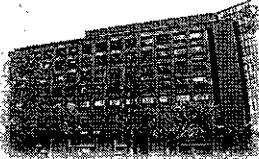
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 検索 お気に入り 印刷 移動

アドレス http://www.niph.go.jp/soshiki/shoga/jkoboshi/concerned/index.html

**子どもに安全をプレゼント
事故防止支援サイト**

トップ > 保健医療・保育関係者用トップ



- 健診用チェックリストと指導パンフレット
- 発達期事故防止パンフレット
- 家庭内安全チェックリスト
(ホームセーフティ100)
- 応急手当法

上記のチェックリストなどの詳細な使用方法につきましては「新子どもの事故防止マニュアル、診断と治療社」にも掲載されております。
※ 次回ご覧になる場合のために、お気に入りに登録されると便利です。

Copyright © 2001 National Institute of Public Health, Teikyo University, All Rights Reserved.

子どもの事故防止支援サイト:一般用 - Microsoft Internet Explorer


ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 検索 お気に入り 印刷 移動

アドレス http://www.niph.go.jp/soshiki/shoga/jkoboshi/general/index.html

**子どもに安全をプレゼント
事故防止支援サイト** 30674

トップ > 一般用トップ



- 年齢別に見守りのポイント
- 年齢別に多い事故
 - 0～1歳
 - 1～2歳
 - 2～6歳
- 応急手当法

年齢別にチェックできますので、お子様の発育に合わせて定期的にチェックしてくださいね。
(お誕生日～0歳見附版)

Copyright © 2001 National Institute of Public Health, Teikyo University, All Rights Reserved.

(参考)

健やか親子21

「健やか親子21」は、21世紀の母子保健の取組の方向性と目標や指標を示し、関係機関・団体が一体となって、平成13年より22年までの10年計画で、その達成に取り組む国民運動

<概要>

- 21世紀の母子保健のビジョンを示すために検討を行ってきた児童家庭局長の委嘱による「健やか親子21検討会」(座長：平山宗宏 母子愛育会日本子ども家庭総合研究所所長)は、その報告書を取りまとめた。
- 報告書では、これまでの母子保健の取組の成果を踏まえ、残された課題と新たな課題を整理し、21世紀の母子保健の取組の方向性を提示し、2010年までの目標を設定し、関係者、関係機関・団体が一体となって推進する国民運動計画「健やか親子21」を提言した。
- 今後は、本報告書の内容を広く関係者等に周知するとともに、「健やか親子21推進協議会」を設置し、国民的な運動を展開する。
- 課題の一つとして、地域保健の中で、「事故の大部分は予防可能で、小児の発達段階に応じた具体的な事故防止方法を、家庭や施設の関係者への情報提供、学習機会の提供等を行う。」ことが掲げられている。

(<http://rhino.yamanashi-med.ac.jp/sukoyaka/index.html> 参照)

「少子化社会対策大綱に基づく重点施策の具体的実施計画について（子ども・子育て応援プラン）」（抄）

平成16年12月24日
少子化社会対策会議決定

<趣旨>

少子化社会対策基本法に基づき、国の基本施策として、「少子化社会対策大綱」（平成16年6月4日閣議決定）を策定し、少子化の流れを変えるための施策を強力に推進することとしているが、本大綱に盛り込まれた施策について、その効果的な推進を図るため、重点施策の具体的実施計画として、この「少子化社会対策大綱に基づく重点施策の具体的実施計画について」を策定する。

本計画では、大綱に盛り込まれた施策のうち、地方公共団体や企業等とともに計画的に取り組む必要があるものについて、平成21年度までの5年間に講ずる具体的な施策内容と目標を掲げるとともに、施策の実施によって子どもが健康に育つ社会、子どもを生まれ、育てることに喜びを感じることができる社会への転換がどのように進んでいるのかが分かるよう、概ね10年後を展望した、目指すべき社会の姿を掲げ、それに向けて、この5年間に施策を重点的に取り組んでいくこととする。

今後、本計画に基づき、夢と希望にあふれる若者が生まれ、家庭を築き、安心と喜びを持って子育てに当たっていくことを社会全体で応援する環境が整ってきたという実感の持てるよう、内容や効果を評価しながら、政府を挙げて取組を強力に進めていく。

4. 子育ての新たな支え合いと連帯

（5）いつでも安心して小児医療、母子保健医療が受けられる体制の整備

②子どもの健やかな成長の促進

家庭内等における子どもの事故防止対策の推進

乳幼児が家庭の浴槽で溺死する事故なども多いことから、家庭内における子どもの事故防止のための取組を推進する。（厚生労働省）

（6）子育てに安心、安全な住まいやまちづくり

②子育てバリアフリーなどの推進

育児にかかる製品の安全性の確保

製品に関する事故情報の収集・調査等により、製品による事故の未然・再発防止及び製品の安全性を図る。（経済産業省）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/jisedai22/pdf/data.pdf> 参照